



## おいしいマンゴー実りました

— 市制5周年記念 第1回マンゴーまつり開催 —

宮古島のマンゴーは今、収穫の最盛期を迎えています。市は、このマンゴーの消費拡大とブランド化を目的に、関係機関と連携して「マンゴーまつり」を初めて開催することとなりました。

当日は、マンゴーの試食販売やマンゴーを使った料理コンテスト、マンゴー収穫体験等を予定しています。多くの市民の皆様のご来場をお待ちしています。



### 第1回マンゴーまつり 日程

日時：7月3日(土)・4日(日)

10:00～18:00

場所：宮古島市体験工芸村(熱帯植物園)

内容：マンゴー試食販売、マンゴー加工品試食販売、マンゴー播き体験、マンゴー収穫体験、マンゴーコンテストなど

お問合せは マンゴーまつり実行委員会(宮古島市農政課)

TEL: 76-6840 FAX: 76-3477

## 今月の主な内容



宮古島市イメージキャラクター  
「あーや」

夏の海に気をつけて!

.....P2

第33回参議院選挙日程

.....P4

お知らせ(社会を明るくする運動ほか)

.....P8



## ★宮古島市における水難事故の推移

年(平成)	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
発生件数	3	10	7	5	5	4	6	6	6	7
(うち観光客数)	3	1	0	2	1	2	4	3	3	4
水死者数	1	5	4	3	4	3	4	5	6	4
(うち観光客数)	1	1	0	2	1	1	3	2	3	2
シュノーケルによる死亡者数	1	1	0	0	1	0	2	2	2	1
(うち観光客数)	1	1	0	0	1	0	2	2	2	1

### — 万が一のため「心肺蘇生法」を覚えよう —

#### ①反応を確認する

傷病者の耳もとで「大丈夫ですか」または「もしもし」と大声で呼びかけながら、肩を軽くたたき、反応がないかを見ます。



#### ②助けを呼ぶ

反応がなければ、大きな声で「誰かきて！人が倒れています！」と助けを求めます。協力者が来たら「あなたは119番へ通報してください。」「あなたはAED(自動体外式除細動器)を持ってきてください」と要請します。



#### ③気道の確保

片手を額にあて、もう一方の手の人差し指と中指の2本であご先(骨のある硬い部分)にあてて、頭を後ろにのけぞらせ、あご先をあげます。



#### ④呼吸の確認

気道を確保した状態で、自分の顔を傷病者の胸に向けながら、頬を傷病者の口鼻に近づけます。確認は10秒以内で、①胸や腹部の上がり下がりを見て、②息の音を聞いて、③頬で息を感じます。



#### ⑤人工呼吸及び胸骨圧迫(心臓マッサージ)

正常な呼吸がなければ、口対口人工呼吸により息を吹き込みます。



- 気道を確保したまま、傷病者の鼻をつまむ
  - 口を大きくあけて傷病者の口を覆い、空気がもれないようにして、息を約1秒かけて吹き込み、傷病者の胸が持ち上がるのを確認する
  - 一度口を離し、同じ要領でもう1回吹き込む
  - 2回の人工呼吸が終わったら、ただちに胸骨圧迫(心臓マッサージ)を開始する
  - 胸骨圧迫は、相手の胸の真ん中で両手を重ねて肘をまっすぐに伸ばし、手の付け根の部分に体重をかけて、傷病者の胸が4～5cm沈むほどの強さで行う
- これを1分間に100回の速いテンポで30回連続して絶え間なく続ける

- #### ⑥心肺蘇生法の継続実施
- (胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせを継続)
- 胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ(30:2)を、救急隊に引継ぐまで絶え間なく続けます。中止するのは、①心肺蘇生法を続けているうちに傷病者がうめき声を出したり、普段どおりの息をし始めた場合、②救急隊に心肺蘇生法を引き継いだ場合です(救急隊が到着しても中止せず、救急隊の指示に従う)。

★市消防本部では、心肺蘇生法やAEDの講習を行っています。詳しくは、市消防本部救急課(72-4358)までお問い合わせ下さい。

# 夏の海に 気をつけて！

— 平成22年水難事故防止運動実施中(4/23～8/31) —

これから夏場にかけて、海でのレジャーを楽しむ機会が増えます。海でのレジャーの際には、水難事故の危険性を十分認識し、事故防止のために注意事項を守って、楽しい思い出だけを持ち帰りましょう。

### — 海でのレジャーを楽しむための注意事項 —

#### ○一人では泳がない

万が一に備えてなるべく単独行動を避け、二人以上で行動し、特に子どもからは目を離さない

#### ○泳ぐ場所の確認

波浪注意報・警報が出されているときや波が高い時は泳がない  
また、一見すると穏やかに見えても、潮の流れが速かったり、離岸流などが発生する場合がありますので注意！

#### ○飲酒後や疲れている時は危険なので泳がない

飲酒後の水泳は身体にかかる負担が大きく、事故につながりやすい

#### ○水分補給を忘れずに

炎天下での日射病、熱射病の対策として、十分に水分補給をすること

#### ○海の危険生物に気をつける

海の生物の中には毒をもつものがあるので、むやみに近づいたり、刺激するのはやめよう

#### ○シュノーケリング事故に注意する

講習を受け正しい使用方法を身に付けよう

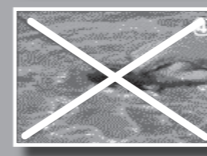
事故多発中につき  
特に注意！

### シュノーケルは正しく使いましょう！



#### 【正しい泳ぎ方】

あごを上げて、先端が常に水面から出るようにする



#### 【悪い泳ぎ方】

あごを引いて、先端が水中に浸かっている  
常時水で満たされ、危険

必須技能

- ◎マスククリア…マスクの上部を押さえ、下側に隙間を開け、鼻から息を吐きだしてマスク内の水を抜くこと
- ◎シュノーケルクリア…息を一気に吹き出し、シュノーケル内の水を出すこと

水難事故防止運動  
標語

- ◎ 青い海 なみだの色に かえないで
- ◎ 泳ぐとき 心にかならず セキュリティー
- ◎ ちゅうら海も ルールを破れば こわい海

シュノーケリングの事故が多発しております  
次の安全対策5原則を守りましょう

- ① 浮力の確保  
ライフジャケット、ウエットスーツを着用すること
- ② 単独で泳がない  
パディシステム(二人一組で海に入ること)
- ③ 自己流は危険  
シュノーケリング器材の基本を習得してから始めましょう。
- ④ 飲酒・体調不良時は事故のもと  
飲酒してのシュノーケリングは絶対に行わない！
- ⑤ 泳ぐ場所の確認  
知らない海は離岸流等が発生する場合があります。危険な海域では、絶対に泳いではいけません！

# 年金 アラカルト

市民生活課 ☎ 72-3751(内線 160)

## ご存知ですか? 『免除制度』

経済的な理由で保険料を納めるのが困難なときは、申請して認められると免除、または猶予されます。本人・配偶者・世帯主の前年度の所得に応じて「全額免除」と「一部免除」にわかれます。免除の承認を受けても、一部免除該当の人は減額された保険料の納付が必要です。納付がないと「未納扱い」になりますので、納め忘れに注意しましょう。

また、免除制度のほかには、本人の所得が一定以下の学生を対象とした「学生納付特例制度」や、本人と配偶者の所得が一定以下の20代を対象とした「若年者納付猶予制度」など猶予制度もあります。

免除の種類	保険料 (月額)	受給側に反映される割合 (□は国が上乗せする部分)	上乗せ額 (月額)
全額免除	納付なし		約 7,550 円
3/4 免除 1/4 納付	3,780 円		約 5,650 円
半額免除 半額納付	7,550 円		約 3,780 円
1/4 免除 3/4 納付	11,330 円		約 1,180 円
全額納付	15,100 円		

## 免除制度・猶予制度・未納の違い

免除の種類	年金受給資格期間	老齢基礎年金額への加算	障害・遺族基礎年金の受給資格期間	追納
全額免除	加算	免除期間分は 1/2	加算	10 年以内 (3 年目以降は加算額あり)
一部免除 (3/4・半額・1/4)	納付分を納めると加算	納付分を納めると加算 3/4 免除 = 5/8 半額免除 = 6/8 1/4 免除 = 7/8	納付分を納めると加算	
若年者納付猶予	加算	反映されない	加算	
学生納付特例	加算		加算	
未納	未加算		受給不可の場合あり	2 年以内

## 合併浄化槽の設置費用に補助金が交付されます

合併浄化槽とは、生活雑排水を、トイレからのし尿とあわせて処理できる浄化槽のことです。市では、この浄化槽(5～10人槽)の設置費用に補助金を交付しています。

### 《対象者》

- ①宮古島市在住で、諸税金を完納済の者
- ②平成22年4月1日から平成23年2月28日の期間内に設置する者
- ③一戸建ての個人住宅で、商店・事業所以外のもの(住宅と併用のものは可)  
※住宅は、既存・新築問いません  
※道路拡張事業で物件補償を受けたものは対象外となります

### 《対象地域》

- ①市内全地区  
※伊良部地区は伊良部支所が担当です
- ②公共下水道・農漁業集落排水区以外の地域

### 《必要書類》

- ①審査期間を経過した浄化槽設置届出書の写しまたは建築確認済書の写し
- ②設置場所位置図、浄化槽断面図、平面図及び仕様書
- ③工程表(浄化槽のみ)、契約書の写し、完成写真各1通
- ④諸納税証明書、住民票抄本など  
※詳しくは申込受付の際に説明します

### 《申込期間》

平成22年12月28日(火)まで  
※申込多数の場合は抽選になります

お問合せは 環境保全課 ☎ 75-5339

## 7月11日(日)は第22回参議院議員通常選挙です

公示日:平成22年6月24日(木) 投票日:平成22年7月11日(日)

投票区	投票所	時間	投票区	投票所	時間
1	平良第一小学校体育館	午前7時 ～午後8時	12	大神離島振興コミュニティセンター	午前9時～午後4時
2	南小学校体育館		13	宮古南静園公会堂	午前8時30分～午後5時
3	市役所平良庁舎1階ロビー		14	城辺農村環境改善センター(城辺公民館)	午前7時 ～午後6時
4	東小学校体育館		15	西城小学校体育館	
5	久松地区公民館	16	砂川小学校体育館		
6	鏡原中学校体育館	17	福嶺小学校体育館		
7	宮原地区農村総合管理施設	18	女性若者交流促進施設(伊良部)		
8	西原地区公民館	19	前里添多目的共同施設(伊良部)		
9	島尻地区農村総合管理センター	20	市役所下地庁舎1階会議室		
10	狩俣集落センター	21	来間離島振興総合管理センター		
11	池間公民館	22	宮古島市上野保健センター		



### 一期日前投票所

投票区名	投票所	期間	時間
第1投票所	市役所平良庁舎1階会議室	6月25日(金)～7月10日(土)	午前8時30分～午後8時
第2投票所	市役所伊良部庁舎地下1階	7月3日(土)～7月9日(金)	午前8時30分～午後5時

お問合せは 選挙管理委員会 ☎ 74-2215

## 博物館へ行こう!

宮古島市総合博物館 ☎ 73-0567

### 【博物館講座】

#### 第1回「長墓遺跡から見る宮古島の歴史」

日時:7月3日(土) 14:00～15:30  
講師:マーク・ハドソン(西九州大学教授)  
場所:博物館研修室  
定員:50名(当日参加)

### 【企画展】

#### 第14回企画展「宮古島の外来生物展」(仮題)

日時:7月20日(火)～8月29日(日)  
場所:博物館特別展示室  
講演:外来生物に関する講演会(題目未定)  
7月31日(土)14:00～15:00  
講師:藤田喜久

### 【子ども博物館】

#### 第2回「昔の遊び道具を作ろう」

日時:7月25日(日) 9:00～12:00  
講師:親泊宗二  
対象:市内の小学5・6年生 ※参加費無料  
募集:10名程度(新規参加)  
申込:博物館へ電話または直接来館

子ども博物館は、市内の小学5・6年生を対象に、宮古の自然・民俗・文化に関する体験学習を行い、郷土に対する認識を深めるために行われるものです。今年度は全6回を予定しています。日程やテーマ等、詳しくは博物館にお問い合わせ下さい。

### 沖縄県立博物館・美術館 企画展(那覇市おもろまち)

#### 「古代エジプト 神秘のミイラ展」 6月25日(金)～8月20日(金)

古代エジプト神秘のミイラ展事務局 098-863-1766

#### 美術館企画展「沖縄マンガ」展 7月1日(木)～8月29日(日)

沖縄県立博物館・美術館指定管理者 文化の杜共同企業体 098-941-2392



## 白い砂上で熱いバトル!

～ 第11回ビーチバレー宮古島大会 / 与那覇前浜ビーチ ～

5月22日・23日の両日、与那覇前浜ビーチで第11回ビーチバレー宮古島大会2010が開催されました。今大会には男子2人制・女子2人制・男女混成4人制の3部門合計で134チーム、約450人が出場。選手たちは海沿いの強い風に苦戦しつつも、観客の声援に応えるかのように見応えある試合を見せていました。

熱戦の結果、男子2人制では「WINDS(仲矢靖央、西村晃一)」、女子2人制では「千秋ともみじ」(三木庸子、楠原千秋)、男女混成4人制ではぼんよ☆ビバ(武村あや、知名篤、湧川朝貴、謝花明子)がそれぞれ優勝を果たしました。



## 更なる増産を目指して

～ さとうきび増産生産者大会  
/JA おきなわ宮古地区本部～

6月4日、さとうきび増産生産者大会(主催:宮古地区農業振興会)がJAおきなわ宮古地区本部で開かれました。

大会には、さとうきび農家をはじめ関係機関の代表などおよそ500人が参加。春植・株出の面積拡大や早期製

糖操業の実現、有機肥料による土づくりの徹底などを盛り込んだ大会スローガンと、来期の目標生産量38万の達成を誓う大会決議を満場一致で採択し、さとうきびの更なる増産を誓いました。



## 「一筆物語」募集!

- 内容:暮らしの中のちょっとした出来事(30字以内)  
毎月掲載者の中から抽選で1名に図書券を進呈します
- 応募:ハガキ・FAX・メールで下記まで  
※住所・年齢・名前(匿名・ペンネーム可)を明記すること  
〒906-8501 宮古島市平良字西里186 広報みやこじま「一筆物語」宛  
TEL:72-3751(内線304) FAX:73-1645  
E-mail:kouhoubosyu@city.miyakojima.lg.jp



## 暑い宮古の熱いレース!

～ 第3回ツール・ド・宮古島2010 ～

6月5日・6日の両日、島内全域をコースに第3回ツール・ド・宮古島大会が開催されました。

大会は、5日に自分のペースでゆっくり楽しむ60kmと100kmのサイクリング部門、6日に日頃の練習の成果を発揮し、自身の限界の挑戦する100kmと100マイル(160km)のロードレース部門がそれぞれ行われ、選手たちは初夏の宮古島を満喫していました。

6日のロードレース当日はあいにくの曇り空で、湿度も高く蒸し暑い気候となりましたが、参加した約400名の選手たちは沿道の声援に応えながら、その暑さにも負けない白熱したレースを見せていました。

レース結果は、100マイルは県参加の新井康文さんが、100kmは千葉県から参加の遠藤優さんがそれぞれ初優勝を果たしました。



## 方言×ユーモア=爆笑

～ 第17回鳴りとうゆんみや〜く  
方言大会 / マティダ劇場～

5月29日、第17回鳴りとうゆん(鳴り響く)みや〜く(宮古)方言大会(主催:宮古島市文化協会)がマティダ市民劇場で開催されました。

会場となったマティダ市民劇場は、立ち見ができるほどの大盛況。出場した弁士達の、地方独特の方言と身ぶり手ぶりでユーモアたっぷりに表現する話術に、訪れた観客からは終始笑い声と拍手が響いていました。

